



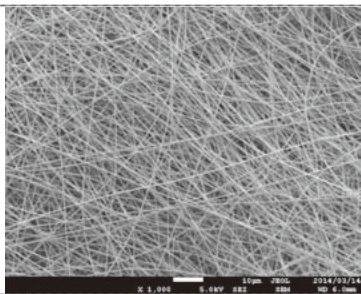
再生医療用材料としてのシルクナノファイバー不織布

シルクナノファイバーの表面性状制御技術

技術分野分類 5402：高分子・繊維材料

技術キーワード C：繊維材料

産業分類 11：繊維工業

内 容	概 要	再生医療分野などで注目されているシルクを素材として、エレクトロスピニング法によってナノファイバー不織布を作製した。後処理条件を変えることによって、シルクナノファイバー不織布の表面性状を制御する技術を開発した。
	従来技術・競合技術との比較（優位性）	生体と直接接触する医療用材料の表面は、治療の成否を分けるほど重要であるが、シルクナノファイバーの表面の性質はこれまで解明されておらず、従って、それを制御する技術は存在しなかった。本技術によって、シルクナノファイバーの性質を制御することが可能になり、医療用材料としての性能の幅を広げることが可能になる。
	本技術の有用性	生分解性材料であるシルクは、再生医療分野での利用が期待されており、多くの大学や公的機関で研究が進められている。本技術を用いることによって、様々な性質を持つシルクナノファイバー不織布を提供することが可能になり、基礎研究や実用化研究が加速されることが期待できる。
関連情報 （図・表・写真等）		
適用可能製品		医用材料
技術 シース 保有者	氏名 所属・役職	寺田堂彦 富山県工業技術センター 中央研究所 材料技術課 主任研究員
技術 シース 照会先	窓口 TEL/FAX e-mail	富山県工業技術センター 企画情報課 0766-21-2121/0766-21-2402 kikaku2@itc.pref.toyama.jp

■知的財産

■試作品状況



提示可

提供可

作成日 2014 年 10 月 17 日